



# 松小だより

令和6年11月14日(木)

学校通信 第29号

発行 学校長

電話 027-393-1521

※個人情報の取扱にご留意ください。

〈松井田小ホームページ <http://www.annaka.ed.jp/shin-matsuida/>〉

## 「人権」について考えたこと

11月7日(木)に行われた人権朝礼については学校通信 No.28 で一部ご紹介しました。そのときの校長講話の冒頭の一説です。

100mを10秒と、10mを30分では、どちらがすごい？

はじめに子供たちは一体何のことかわからず、ポカンとしていました。「人間の走る速さだよ」と伝えると、一斉に「100mを10秒で走るの方がすごい！」と答えます。現在、陸上における世界記録はジャマイカのウサイン・ボルト選手の9秒58だったでしょうか。ボルト選手の写真をスクリーンに映すと、高学年の児童を中心に納得の表情。次に10mを30分かけて移動する人の写真を投影しました。私の父の写真です。昨年7月に天国へと旅立った父は、晩年は脳梗塞など病気の影響で身体に麻痺が残り、歩行困難となったためリハビリを続けていました。時には家の中で転倒して顔中血だらけになり、救急車で搬送されたこともありました。本年度の「安中市人権教育・啓発に関する基本計画」の中心課題は「障害のある人たちの人権」です。パリで行われたパラリンピックの競技の様子も写真で投影しながら、再度「どちらがすごい？」と問いかけてみました。黙ってしまう児童もいれば、どちらもすごいと答える児童。これまでの人権講話を振り返りながら、「一人一人の違い(個性)を大切にすること」が人権を大切にすることにつながるということをあらためて再認識してくれたようです。「思いやり放送」(お昼の放送)では、放送委員から人権朝礼の児童の感想が紹介されました。



## 人権朝礼の感想から

- 1年 ○○ ○○ さん : ウサイン・ボルトは世界記録を出したけど、校長先生のお父さんもすごいです。おもいやり算の「+ たすけあう」もよかったです。パラリンピックの選手は、障害があるのに泳いだり、やりなげなどができてすごいと思いました。
- 2年 ○○ ○○ さん : 今年の人権スローガンを聞いて、みんなが笑顔になるためには、友達に悪口を言ったりしないようにするとよいと思いました。人を笑顔にさせる算数を使って、笑顔の花を咲かせたいと思いました。
- 3年 ○○ ○○ さん : 100mを10秒で走るのってすごいなと思いました。けれど、校長先生のお父さんは、がんばって苦勞してやっと10mをあきらめずに歩いたのもすごいことだと思いました。
- 4年 ○○ ○○ さん : 思ったことを言葉や行動で表すと「思いやり」になるということが大切だと思いました。「思いやり算」は初めて知りました。どれも自分でできることだと思うので、がんばりたいです。人権スローガンには「一人一人のやさしさで」と書いてあるので、誰にでもやさしくしたいです。これからも「人権」という言葉を頭の中に入れておきたいです。
- 5年 ○○○○○○ : 私は、相手のことも自分のこともちゃんと考えて生活をしていきたいです。みんなの個性と一緒に助け合って遊んだりしていきたいです。友達が今、友達でいられることが幸せだし、学校に来て勉強することも幸せだと思います。
- 5年 ○○○○○○ さん : 校長先生が今までしてくださった人権のお話を振り返り、「人はみんなで生きていくんだな」と思いました。家族には今まで育ててもらったり支えてもらったり、地域の方には見守ってもらい、友達や先生にはいろいろなことを教えてもらったり、よいところを見つけてもらったりしました。みんながいることで勇気づけられ、助け合いながら生きていけるんだなと思いました。人によって得意なことが違い、苦手なことが違い、よいところがあり、この世界に同じ人は一人もいません。だから、自分の個性も相手の個性も大事にして、みんなが笑顔で生活できるようにしたいです。

6年 ○○ ○○ : 校長先生の話を聞いて、自分の命も他人の命も大切にしなければいけないと、あらためて思いました。なぜなら、「命」という漢字は「人」「一」「叩」という字からできていて、祖先から命のバトンを受け継いでいるからです。今年のスローガンにあるように、卒業するまでずっと笑顔でいるために、相手の立場を考えて言葉を発していきたいです。

6年 ○ ○○ : 何十分かけて歩く人も、とても速く走れる人も、頑張っていたら2人とも同じだということがあらためてわかりました。人によって見え方や考え方が違うし、それは当たり前のことだということを人権月間ではよく考えていきたいと思いました。

6年 ○○ ○○ : ぼくは校長先生の「思いやり算」の話を聞いて、思いやりの心を他人に分け合うことが大切なんだと感じました。答えが出せなければ、それは解いている人が思いやりの心がないという意味だと思いました。「思いやり算」の答えを出すことが大切なんだと思いました。

6年 ○○ ○○ : 私が特に印象に残ったのは、「どちらがすごい？」です。最初は、100mを10秒の方がすごいと思いました。けれど、校長先生のお話を聞いて、どちらも努力してできたことだから、どちらもすごいなと思いました。私は、自分の「思い」を他の人に言葉や行動になかなか表すことができないので、この1か月間でしっかりと表せるようになりたいです。

松井田中学校美術部のみなさん ありがとう！



【11/8 (金) 朝日新聞より】

松井田中学校美術部のみなさんから Smile Band へ「横断幕」が贈呈されました。部員の中には本校の卒業生もおり、解散を惜しんでいました。休日も本校の最終公演のために、一生懸命制作してくださったそうです。11月12日(火)に Smile Band を代表して指揮者の6年生 ○○ ○○ さんと ○○ ○○ さんが松井田中学校を訪れ、美術部の代表生徒から受け取りました。

11/23 (土) 最終公演当日の欠席連絡

A.M 10:00~11:00 松井田小学校 027-393-1521

必ず留守番電話に名前と要件を入れてください。この時間以外是对応できません。開始時刻に間に合わない場合には演奏を始めます。

